

大学名：広島大学教育学部

| ASPUnivNet の 4つの機能他 | 評価項目 | 事例記述 |
|-------------------------------------|---|---|
| 1. 学校のユネスコスクール加盟を支援します(加盟に関する相談も含む) | ① ユネスコスクール加盟を希望する地域の学校から相談があったときにそれに応じることができた。 | 令和 5 (2023) 年度は、ユネスコスクール加盟を希望する地域の学校はなかったが、近年では広島県及び山口県の学校の相談支援に応じてきた。 |
| | ② ユネスコスクール・チャレンジ期間実施校に対する相談に応じることができた。 | 令和 5 (2023) 年度はなかったが、近年では私立広島新庄中学校、私立武田中学校高等学校、東広島市立吉川小学校、山口県立萩高等学校のユネスコスクール・チャレンジ期間の相談支援に応じてきた。 |
| | ③ 地域の加盟済のユネスコスクールに向けてESD/SDGsをリードする学校としての「質の向上」にかかわる支援を行うことができた。 | 広島県ユネスコ連絡協議会と連携して 2014 年度より広島県ユネスコ ESD 大賞、2017 年度からは広島県ユネスコ ESD×SDGs 大賞を設けて、広島県内の小中高等学校並びに民間活動団体の中から、ESD・ユネスコスクールの普及・推進に関わる優れた実践活動を顕彰している。 |
| 2. 大学の持つ知的財産をユネスコスクールの活動に提供します | ① 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールに向けた支援(資料提供やコーディネート、出前授業やワークショップなど)を行うことができた。 | SDGs 達成のために必要とされるグローバル・コンピテンシーを育成できるように教員のスキル向上と養成を目的として、現職教員および将来の担い手となる教員志望の学生を対象に、広島大学教育学部・大学院人間社会科学研究科を中心とした人的資源を活用しながら、教育委員会・県下の教員養成大学・企業・ESD 活動支援センター・各種団体が連携して、広島 SDGs コンソーシアムとしてネットワークを構築するとともに、研修会・講演会・ワークショップなどを組み合わせた教員研修プログラムを実施している。 |
| | ② 研修会やワークショップを地域のユネスコスクールと協働して開催することができた。 | 広島県ユネスコ ESD×SDGs 大賞と広島 SDGs コンソーシアム事業はともに広島県ユネスコスクール連絡協議会などと連携協働して開催を進めてきている。令和 5 (2023) 年度も 7 月と 12 月に研修会、年間を通して 6 回のセミナーを広島県ユネスコスクール連絡協議会などと連携協働して開催した。 |
| | ③ 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールと協働で教材やモデルプロジェクトを開発することができた。 | 広島県ユネスコ ESD×SDGs 大賞と広島 SDGs コンソーシアム事業の活動の中で開発と報告のあった教材と様々なモデルはそれぞれの年度報告書とウェブサイトなどで公開をしている。 |

| | | |
|----------------------------------|--|--|
| 3. 地域の教育機関とユネスコスクールとの連携を促進します | ① 地域のステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。 | 広島県ユネスコ ESD×SDGs 大賞と広島 SDGs コンソーシアム事業などの実施や成果の公開を通して地域のステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができている。 |
| | ② ユネスコスクールと地域の多様なステークホルダーとを結びつけることができた。 | 広島県ユネスコ ESD×SDGs 大賞と広島 SDGs コンソーシアム事業を通してユネスコスクールと地域の多様なステークホルダーとを結びつけることができている。 |
| | ③ ユネスコスクールに関連した地域教育委員会との連携や地域における大学間の連携を促進することができた。 | 広島県ユネスコ ESD×SDGs 大賞と広島 SDGs コンソーシアム事業を通して教育委員会・県下の大学・企業・ESD 活動支援センター・各種団体の連携を促進することができている。 |
| 4. 国内外のユネスコスクールとのネットワークづくりを支援します | ① 地域をこえた国内外の多様なステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について知らせることができた | 広島県ユネスコ ESD×SDGs 大賞と広島 SDGs コンソーシアム事業はともに海外の日本人学校など地域をこえた国内外の多様なステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について知らせることができている。 |
| | ② 地域をこえた国内外のユネスコスクールと協働で活動することができた。 | 広島県ユネスコ ESD×SDGs 大賞と広島 SDGs コンソーシアム事業を通して地域をこえた国内のユネスコスクールと協働で活動することができるような取り組みは静岡県や福岡県などと実現に至っているが国外のユネスコスクールとの協働活動については検討模索中である。 |
| | ③ ユネスコスクールがグローバルな活動することについてそれを支援することができた。(例：ユネスコスクールの国境を越えた交流、海外とのオンライン交流、海外のプロジェクトへの参加など) | 広島県ユネスコ ESD×SDGs 大賞と広島 SDGs コンソーシアム事業の中での研修会・講演会・ワークショップにおいて海外とのオンライン交流を通してユネスコスクールがグローバルな活動することについて支援することができている。 |
| 5. 大学内の活動 | ① 大学内でユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。 | 広島県ユネスコ ESD×SDGs 大賞と広島 SDGs コンソーシアム事業を通して広島大学内とともに広島市立大学など広島県内の大学においてもユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができている。 |
| | ② 学部大学院の教育課程でユネスコスクールにかかわる教育を行うことができた。 | 学部と大学院の教育課程の中でも広島県ユネスコ ESD×SDGs 大賞と広島 SDGs コンソーシアム事業の紹介や案内を広く行うことでかかわる教育を行うことができている。広島大学の大学院共通教育（博士課程前期）科目の「SDGs への実践的アプローチ」の中では広島県内外のユネスコスクールの取り組みを取り扱っている。 |

| | | |
|----------------------------|--------------------------------------|--|
| | ③ 調査研究活動でユネスコスクールに関連した調査研究を行うことができた。 | 広島県ユネスコ ESD×SDGs 大賞と広島 SDGs コンソーシアム事業を通じた調査研究活動でユネスコスクールに関連した調査研究を行うことができている。 |
| | ④ その他 | 広島大学教育学部では学部内にユネスコスクール委員会を設置して活動の推進にあたっている。 |
| 6. ASPUnivNet のネットワーク機能の活用 | ① 加盟大学間で情報共有ができた。 | ASPUnivNet の会議を通しての情報共有とともに、特に広島市立大学国際学部とは広島県ユネスコ ESD×SDGs 大賞と広島 SDGs コンソーシアム事業などを通して緊密な情報共有ができている。 |
| | ② 加盟大学間で連携した取組ができた。 | ASPUnivNet の会議を通しての連携とともに、特に広島市立大学国際学部とは広島県ユネスコ ESD×SDGs 大賞と広島 SDGs コンソーシアム事業などで緊密に連携した取組ができている。令和 5 (2023) 年度は静岡大学教育学部とも連携した取組を進めることができた。 |
| | ③ その他 | 今後も ASPUnivNet のネットワーク機能を活用して多様な加盟大学間での情報共有と連携した取組を進めていきたい。 |

自由記述

広島県ユネスコ ESD×SDGs 大賞と広島 SDGs コンソーシアム事業については下記のウェブサイトをご参照ください。

<http://unescohp.hiroshima-u.ac.jp/>

<https://unesco16.hiroshima-u.ac.jp/>